

☆..きらっと☆図書館講座⑦with キャリア
支援センター..☆☆..卒業生からのメッセ
ージ 2015 part1 2015年4月28日(火)
12:20~12:55

今回お話しいただいたのは、2012年度
生活未来科生活福祉コース卒業生の増井
圭さんと今井まどかさんです。

現在、増井圭さんは介護福祉士として

「ニッセイ聖隷健康福祉財団 奈良ニッセイエデンの園：介護付有料老人ホーム」に、今井まどかさん
は介護福祉士及び生活相談員として「社会福祉法人 青谷福祉会 デイサービスセンター加茂の里」で
働いています。



在学生からは、

- ①「働き始めて苦労したことは何ですか」
 - ②「心が折れたことはありますか？そういうことがあった場合、どう対処されていますか」
 - ③「学生時代にしておいたら良かったと思うことは何ですか」
 - ④「仕事をする上で大切にしていることは何ですか」
 - ⑤「私たちに応援メッセージを送るとしたらどんなことですか」
- などの質問がありました。

先輩は、

- ①「毎日40名の利用者さんの席を決めるのですが、最初は、お名前や個別の利用者さんの特徴や人間関係などを覚えるのにとっても苦労しました。小さいメモを用意し、毎日書き取って覚える努力をしました」

「今でもそうですが、利用者さんとコミュニケーションをとるのは難しいです。日々、
できるだけ自分から利用者さんに関わる
努力をして良い関係を築けるよう努力し
ています」



- ②「特に感じたことはありません」

「ある利用者さんと関係性が中々築けず
大変な時期がありました。その時は大変つ
らい思いをしたのですが、大勢の中ではなく
お一人の時に、自分の気持ちを素直に伝
えることで、分かってもらえることが出来
ました。それ以来、今でも良い関係を保っ
ています」

- ③「介護過程（介護を提供するまでの道筋
を科学的思考と問題解決思考に基づいて説
明すること）ですね。あとは、人前に出
ていろいろなことに関わることですね」

「実技については日々身につけてきます
が、現在、生活相談員としても働いてい
るので、介護保険制度や社会福祉のことな
どもっと勉強しておけば良かったと思いま
す」

- ④「特に意識してはいませんが、できる
だけプラス思考で考え行動することです
ね」

「目標をしっかりと持つこと、相手を思い



やること、何気ない時間も考えながら行動し時間を無駄にしないことです」

⑤「実習の際は、貴重な機会なので、利用者さんにしっかり寄り添い、積極的に関わってください」

「仕事についてから様々な企画をする機会もありますが、その場合しっかりとスケジュール管理が必要となります。自分が楽しいと思うことでも良いので、様々な企画に携わるなど物事に積極的に関わることをお勧めします。あと、勤務先で実習生を受け入れていますが、実習生の印象は「挨拶」で決まります。必ず元気よく挨拶してくださいね」
など いろいろな質問に答えていました。

福祉コースの学生など約 35 名の参加がありました。

在学生のアンケートでは、

- ・ 現場に入ってからの日常業務をお聞かせ頂き、大変参考になりました。
 - ・ すごく役に立ちました。
 - ・ 生の声を少しでも聴けて良かったです。
 - ・ リアルな話を聞いて、刺激になりました。
 - ・ 現在働いている人でかつこの卒業生の方に話がきけたのは意義があった。
 - ・ わからないことを知ることができた。とても良い時間がとれて良かったです。
- などの声が寄せられました。

増井さん、今井さん、忙しい中、本当にありがとうございました。

働き始めてからも、さらに成長した姿を直に拝見できて先生や私達職員もとても感動しました。
また、遊びに来てくださいね。

きらっと☆図書館講座⑥ きらきら★ミニ講座 レクリエーション編

☆..きらきら よい子の遊び講座..☆ 2015 part1 2015年5月11日(月) 12:25~12:55

<プログラム>

“上を向いて歩こう：心と心のハーモニー”

プログラム

- ・ 上を向いて歩こう
- ・ 麦の唄
- ・ あざみの歌
- ・ さんぽ
- ・ ふるさと
- ・ 明日があるさ



シリーズ7回目となる今回は、“上を向いて歩こう：心と心のハーモニー”と題し、講座を開催しました。

音楽ボランティアをライフワークとして活躍中の本学非常勤講師の和田宏一先生と ピアニスト・作曲家の大藪真紀子先生に、レクリエーションの場において音楽をどう生かせば良いか、体操や手遊びを交えご指導いただきました。

講座は、キーボードとピアノによる『上を向いて歩こう』の演奏で始まりました。

つぎに、高齢者施設でも人気のある朝ドラの曲として、今回は2014年度後期朝の連続テレビ小説「マッサン」の主題歌である『麦の唄』の紹介がありました。

続いて、先生方から“施設で利用者さんに好まれる曲”には、唱歌・歌謡曲などがあることを教えていただき、歌謡曲の代表曲として『高校三年生』をラジオ歌謡の代表曲として『あざみの歌』の紹介がありました。

その他、高齢者施設でリクエストされる曲として、お墓というフレーズが出てきたりするので敬遠されるかと思われませんが意外とリクエストの多い曲として『千の風になって』の紹介もありました。また、先生方が高齢者施設や知的障害者で音楽ボランティアをする際、心がけていることとして「利用者の方と同じ目線に立って楽しい空間やひと時を過ごす」ことなどを教えていただきました。



つぎに、知的障害者施設で、レクリエーションの場において活用のある曲として『さんぽ』の紹介がありました。

先生や学生さんの飛び入り参加もあり、体操や手遊びを交えて曲を楽しみました。また会場の皆さんも、ペットボトルを再利用して作ったマラカスを振り一緒に曲を楽しみました。会場はとても盛り上がりました。

さらに、唱歌の代表曲として『ふるさと』の紹介があり、大藪先生が奏でる笛で音を合わせ、アカペラで和田先生との二部合唱で一緒に『ふるさと』を歌いました。

最後に、もう一度マラカスを振りながら、CMなどにも使われ若い世代にもなじみのある『明日があるさ』の曲を会場の皆さんと一緒に歌いました。

生活未来科 生活福祉コース、専攻科など、約40名の参加がありました。

アンケートでは、

- ・ 歌声がとても良く耳ではなく心で聞けました。とても楽しかったです。ありがとうございました。
 - ・ 実習で使いたいと思いました。
 - ・ 音楽はどんな方にも届くメッセージだと思います。とても癒されました。
 - ・ 楽しい昼休みを過ごささせていただきました。子どもが小学生の頃操っていた楽器（ピアノカ）であんなすばらしい音が出ることも発見でした。
 - ・ 心が安らぎました。あまりこういった歌を聴く機会がないので、とてもよかったです。
- などの声が寄せられました。



2015 大学祭イベント報告 10月17日(土) 11:00~16:00、10月18日(日) 10:00~15:00

図書館で卒業生による絵本の読み聞かせや、ぬり絵を楽しめる「えほんのひろば」を開催しました。今年、図書館でゆったりコーヒーを飲むことができる「としょかん de カフェ」も同時開催しました。

“えほん” “ぬりえ” を楽しむ家族連れや“カフェ”を楽しむ方で会場はにぎわいました。

2日間で約40組の家族連れや卒業生、一般の方など延べ150名ほどの参加がありました。

- ・子どももすごく楽しんでいて、親はそれをみながら久しぶりにゆっくりとおいしいコーヒーを飲めて良かったです。ありがとうございました。
- ・ていねいに子どもの興味をひきながら絵本を読んでもらったので、嬉しかったです。子どもが大喜びでした。
- ・静かでゆっくりできました。のんびりしていて良かった。
- ・やっぱり読み聞かせの時間は、子どもにとって楽しくて大事だと思います。
- ・本を見たり探したりしながら、くつろげ有意義でした。椅子もたくさんあり、ゆっくりできました。などの声がよせられました。どうもありがとうございました。

